

1 基 本 項 目 総 合 計 画	事務事業名	公共交通対策事業			担当部署 予算科目	課等名	都市計画課	
	予算事業名	公共交通対策事業				係名	まちづくり交通係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1026	
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度		会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち				款	総務費	
	政策名	政策13. 快適で住みやすいまちづくり				項	総務管理費	
	施策名	施策35. 総合交通体系の整備				目	交通対策費	
	基本事業名	基本事業35-1. 公共交通の利便性向上				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
根拠法令 アウトソーシング導入状況	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連なし	

2 事 業 概 要	事業概要	地域における公共交通（バス・鉄道等）の活性化を図るとともに、北陸新幹線長野一金沢間開業後の並行在来線及び地鉄本線の在り方を検討することにより、将来における調和のとれた交通体系を築き、市民の方が暮らしやすく、また、本市に来訪される方にとって満足度が高まるまちづくりの実現を目指すため、行政・交通事業者・市民が一体となって、各種施策の推進を図る。					
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる方々					
	手段（活動指標）	「魚津市地域公共交通計画」に基づき、市民団体の代表や関係機関などの意見を聴き、利用者・非利用者アンケートの機会を設けるほか、公共交通機関や市民ぐるみの活動を支援する。					
	意図（成果指標）	市民および来訪者等全ての人が利用しやすい効果的・効率的かつ持続可能な公共交通体系（市民バス・地鉄バス・並行在来線・地鉄本線等の在り方）が築かれる。					

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率
活動	①魚津市公共交通活性化会議開催数	回	4	5	3	6	200.0%
	②在来線等対策連絡協議会補助金	円	0	0	0	0	0
成果	①魚津市民バス利用者	人	113,308	118,421	120,000	119,101	99.3%
	②地鉄バス乗車数（1日平均）	人	89	89	100	84	84.0%

4 コ ス ト 情 報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率
事業費	事業費合計 (A)	円	12,985,854	15,382,124	46,617,379	41,005,854	166.6%
	①国庫支出金	円			160,000	0	0
	②県支出金	円	525,000	569,000	2,415,000	170,600	-70.0%
	③地方債	円			0	0	0
	④その他（使用料、雑入等）	円	183,300	166,000	1,252,000	229,500	38.3%
人件費	⑤一般財源	円	12,277,554	14,647,124	42,790,379	40,605,754	177.2%
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	3	3	50.0%
	②年間所要時間	時間	1,100	1,100	2,800	2,800	154.5%
	③人件費（②×@ 3,876 円）(B)	円	4,263,600	4,263,600	10,852,800	10,852,800	154.5%
総費用 (A+B)		円	17,249,454	19,645,724	57,470,179	51,858,654	164.0%
							20,982,800

5 取 組 内 容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	①魚津市公共交通活性化会議の開催、地鉄バスの市民バス移行への調整						
	②あいの風とやま鉄道への経営安定基金への拠出						
	③黒部宇奈月温泉駅と市内を結ぶ、予約式あいのりタクシーの運行						
	④魚津駅舎内の利活用スペース「ミラマルシェ」の維持管理						
	⑤室堂直行便「アルペンライナー」の魚津 IC 停車への対応						
	⑥魚津市地域公共交通計画の評価						
	⑦あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道の鉄道運行維持のための燃料費補助						
	⑧市内タクシー事業者の運行維持のための燃料費補助						

6 評 価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定		
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性 ②目的の妥当性 ③対象の妥当性	1 妥当である 1 妥当である 1 妥当である		
有効性	有効性	A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要		①目標達成度 ②類似事業の有無 ③上位施策への貢献度		
	効率性	B	A	特に問題なし		2 目標どおり 1 なし 2 普通		
	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適當		1 高い 1 適正である 1 適正である		
1 次 評 価	現状を維持	方針	高齢化社会の進展や北陸新幹線開業後の周辺交通の変化などにより、公共交通機関に対する市民や来訪者のニーズの高まりと求められる内容も変化することが予想される。こうした中、公共交通の果す役割はますます大きく、公共交通の利便性確保や利用促進策の充実など公共交通施策の推進のためにも事業の継続は必要である。					
	事業の拡充							
	事業の縮小							
	統合等の検討							
	終了又は廃止・休止	等						
2 次 評 価								

1 基 本 項 目 総 合 計 画	事務事業名	魚津市民バス運行事業	担当部署	課等名	都市計画課
	予算事業名	魚津市民バス運行事業		係名	まちづくり交通係
	事務区分	自治事務		電話番号	0765-23-1026
	事業期間	開始年度 平成18年度		終了年度 当面継続	予算会計
	目標名	目標3. 輝くまち		款	総務費
	政策名	政策13. 快適で住みやすいまちづくり		項	総務管理費
	施策名	施策35. 総合交通体系の整備		目	交通対策費
	基本事業名	基本事業35-2. 市民バスの利便性向上	総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
根拠法令			総合戦略との関連	関連なし	
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)		集中プランとの関連	関連なし	

2 事 業 概 要	事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に来訪される方々の利便性を確保し、地域の活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行しています。 ◇路線 市街地巡回ルート(東・西回り)、郊外ルート(6ルート)、◇運賃 全ルート共通 1人1乗車200円(小・中学生、高校生100円、未就学児無料) [回数券13枚綴り2,000円(小・中学生、高校生回数券13枚綴り1,000円)・1日乗車券500円(小・中学生、高校生300円)あり]
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる人
手段(活動指標)	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。	
意図(成果指標)	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率
活動	①市民バス運行委託料(市街地巡回ルート)	円	17,872,469	18,541,218	18,480,000	18,649,406	100.9%
	②市民バス運行委託料(郊外6ルート)	円	50,114,838	53,460,784	49,478,567	49,266,206	99.6%
成果	①魚津市民バス利用者	人	113,308	118,421	120,000	119,101	99.3%
	②市民バス運賃収入(全ルート)	円	17,403,807	17,973,000	22,004,000	19,043,199	86.5%

4 コ ス ト 情 報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率
事業費	事業費合計(A)	円	78,555,230	88,497,433	86,359,021	84,474,664	-4.5%
	①国庫支出金	円	3,789,000	3,826,000	2,260,000	2,930,000	-23.4%
	②県支出金	円	9,343,000	11,413,000	10,904,000	11,195,000	-1.9%
	③地方債	円			0	0	0
	④その他(使用料、雑入等)	円	2,292,469	450,000	2,200,400	19,540,199	4242.3%
人件費	⑤一般財源	円	63,130,761	72,808,433	70,994,621	50,809,465	-30.2%
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	0	3	50.0%
	②年間所要時間	時間	1,200	1,200	0	2,800	133.3%
	③人件費(②×@3,876円)(B)	円	4,651,200	4,651,200	0	10,852,800	133.3%
総費用(A+B)		円	83,206,430	93,148,633	86,359,021	95,327,464	2.3%
R5年度 当初予算額 106,642,000 11,920,000 15,700,000 0 26,314,000 52,708,000 3 2,800 10,852,800 117,494,800							

5 取 組 内 容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	◇バスロケーションシステムの安定稼働に向けた取り組み及びバス運行ディスプレイシステムの運用安定化への取り組み						
	◇市民バスを利用した利用促進イベント「親子でおでかけ事業」の実施						
	◇老朽化した上野方・松倉ルート車両の更新・小型化と、バスに関するポスターの優秀作品の車体へのラッピング						
	◇「魚津市民バス等利用促進協議会」を起点にした、市内全域での市民バス及び地鉄バスの利用促進に向けた取り組み、地域・企業要望等の調整						
	◇個々の利用者の状況に応じたマイ時刻表の作成						
◇市民バス運賃支払いの「PayPay」対応							

6 評 価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性 ②目的の妥当性 ③対象の妥当性	1妥当である 1妥当である 1妥当である
有効性	A	A		目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	①目標達成度 ②類似事業の有無 ③上位施策への貢献度	2目標どおり 1なし 1高い
効率性	B	B		進め方等の改善が必要	①コスト効率 ②実施主体の適正化 ③負担割合の適正化	2普通 1適正である 1適正である
1 次 評 価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適當	不要	
	○現状を維持 □事業の拡充 □事業の縮小 □統合等の検討 □終了又は廃止	方針の説明等		社会状況の急激な変化による利用者の減少や人口減少に直面しており、今後も各地区的「魚津市民バス等利用促進協議会」や交通事業者等と連携しながら、安全運行管理体制の構築と利用促進への取組みを続けるなど安全で持続可能なバス運行ができるよう方策を講じていく必要がある。	2次評価	